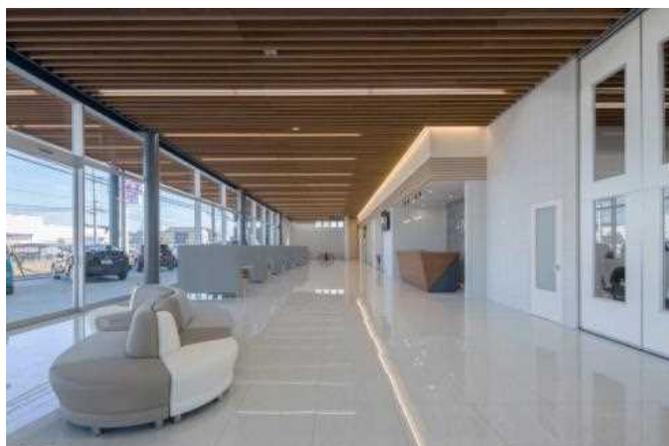


トヨタカローラ新茨城株式会社 友部店

やさしく、あたたかい、ファミリー世代のためのショールーム



■ 建築概要

所在地	茨城県笠間市旭町	施設用途	自動車販売店、自動車修理工場、展示場
構造・階数	鉄骨造・平屋建	延床面積	1517.1㎡
事業費	410,000千円	木工事費	22,102千円
工期	令和3年4月～令和4年1月	設計者	EOS建築事務所
施工者	株木建設株式会社	木材供給者	(株)林産

■ 設計者からのひと言

将来のモータリゼーション（自動車の大衆化）を見据えると、女性及びファミリーの普及が増えていく社会になって行く事は、昨今の社会状況から想像できます。よって、これからの自動車ショールームは①入りやすい気軽なお店②親しみやすく優しいお店③安心、安全で信頼関係が築けるお店④車を楽しく選べるお店である事が必須であると考えられます。

店舗のデザインにおいてもやさしく、気軽に入れる雰囲気のお店とすること、が求められます。そこで内外装材に木材（木質化・茨城県産木材）を採用し、その雰囲気をかもし出すこととしました。お客様やスタッフが目にする箇所に、木材を効果的に使用する事で、やさしく、あたたかい、空間としました。

■ 使用した木材や工夫した点

今回の計画はショールーム・屋外展示場・アプローチ部の天井面に木製ルーバーを活用し、又、内部の建具は杉板の無垢材等を使用し、視覚的にやわらかく、やさしい空間を創出しています。施工面でも加工が簡易で工期短縮にも繋がりました。

また、本建築物は建築基準法上、準耐火建築物となります。修理工場は機能上鉄骨造とし、ショールームは木造化の構成で試みましたが準耐火の基準、柱スパンの距離等で材積UPとなり、コストに影響し、予算内に収めることが困難なため、骨組は鉄骨、内装仕上げ材は効果的に木材を使用すること、いわゆるスケルトン・インフィルの考え方で計画を進めました。



樹種	県産木材使用量	使用部
スギ	224.53㎡	天井ルーバー、壁面、建具等
計	224.53㎡	